

第37回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会群馬大会

第2分科会テーマ「語彙・語法の習得と定着を促す効果的な指導と評価の工夫」

提案発表資料

研究主題

初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話す力を伸ばす
英語科学習指導

—段階的に考えなどを視覚化する学習活動の工夫を通して—

平成25年11月15日

茨城県銚田市立大洋中学校

教諭 吾妻 俊昭

1	主題設定の理由	P1
	(1) 中学校学習指導要領解説外国語編から	P1
	(2) 生徒の実態	P1
	(3) 研究の方向性	P1
2	研究のねらい	P2
3	研究の仮説	P2
4	研究の内容	P2
	(1) 基本的な考え方	P2
	ア 自分の考えなどを話す力について	P2
	イ 段階的に考えなどを視覚化することについて	P2
	(2) 主題に迫るために	P3
	ア 生徒の実態から	P3
	(ア) 事前の実態調査	P3
	(イ) 抽出生徒の英文	P3
	イ 自分の考えなどを話す力を伸ばす手立てについて	P4
	ウ ルーブリック（評価指標）を用いた評価について	P4
	(ア) 英語で話す技能のルーブリック	P4
	(イ) 思考過程のルーブリック	P4
	(3) 授業実践	P6
	ア 学習目標	P6
	イ 学習計画	P6
	ウ 第7，8時（2nd challenge）を抜粋した学習計画	P6
	(4) 授業の分析と考察	P7
	ア 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話す力を伸ばす活動から	P7
	イ ルーブリックを用いた評価から	P9
	(ア) 話す技能の到達度評価	P9
	(イ) 思考過程の到達度評価	P10
	ウ 実態調査の事前と事後の比較	P10
	(ア) 生徒の実態から	P10
	(イ) 抽出生徒の実態から	P10
	(ウ) 抽出生徒の感想から	P11
5	研究のまとめ	P12
6	今後の課題	P12
7	補足資料	P13

研究主題 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話す力を伸ばす英語科学習指導
一段階的に考えなどを視覚化する学習活動の工夫を通して―

茨城県銚田市立大洋中学校 教諭 吾妻 俊昭

研究の概要及び索引語

英語科において、生徒が自分の考えなどを話すことができることは重要である。本研究では、グラフィック・オーガナイザーを活用して、段階的に考えなどを視覚化する学習活動の工夫を通して、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話す力を伸ばす英語科学習指導について究明する。

索引語： 自分の考えなど，グラフィック・オーガナイザー，段階的，視覚化

1 主題設定の理由

(1) 中学校学習指導要領解説外国語編から

中学校学習指導要領解説外国語編（平成20年9月）では、英語の目標に、「初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。」と示されている。

指導計画の作成上の配慮事項オでは、「語、連語及び慣用表現については、運用度の高いものを用い、活用することを通して定着を図るようにすること。」と示されている。

これらのことから、与えられた語句や文を繰り返すことができるだけでなく、自分の考えなどを話すことができることが大切である。自分の経験や考えなどを表現する場面や状況を設定し、生徒が使いたい語彙を自ら選択して適切に活用できるように繰り返し指導することが大切であると考えられる。

(2) 生徒の実態

「私の好きなもの」という話題で、2分間、3人グループでの自由な会話を実施した。表1の結果から、話す考えなどが浮かばない、適切に質問や応答ができない、会話を続けることができない生徒が多いことが分かった。

表1 英語で話すことの実態調査

(平成25.7.16実施 大洋中学校第1学年1組26人)

分析項目	ある	ない
1 自分の考えなどがある。	9人	17人
2 質問や応答ができ、適切である。	7人	19人
3 会話の中に沈黙がある。	21人	5人

(3) 研究の方向性

初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるよう、語彙を覚える過程を重視し、段階を踏んだ学習活動を行う。

Learning Vocabulary in Another Language FOR ENGLISH TEACHER の中で、

Paul Nation は語彙を覚える過程を、気づきの段階、想起の段階、創造的／生成的な語彙の使用の段階としている。

これら 3 つの段階において、気づきの段階を引き出し広げる、想起の段階を整理する、創造的／生成的な語彙の使用の段階を深めるとする。

また、それぞれの学習活動で自分の考えなどを引き出し、広げ、整理し、深めることができるようにするため、グラフィック・オーガナイザーを活用する。グラフィック・オーガナイザーとは、概念図の総称である。情報や概念の関連性、思考過程などを図式化したもので、理解を深めたり、思い出したり、意見を引き出したたりするために用いられる視覚的援助である。

以上のことから、それぞれの段階において、グラフィック・オーガナイザーを活用して、段階的に考えなどを視覚化する学習活動を工夫することで、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話す力を伸ばすことができるのではないかと考え、本主題を設定した。

2 研究のねらい

中学校第 1 学年の生徒に対して、グラフィック・オーガナイザーを活用して段階的に考えなどを視覚化する学習活動を工夫することで、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話す力を伸ばす英語科学習指導を究明する。

3 研究の仮説

中学校第 1 学年の生徒に対して、グラフィック・オーガナイザーを活用して段階的に考えなどを視覚化する学習活動を工夫すれば、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話す力を伸ばすことができるであろう。

4 研究の内容

(1) 基本的な考え方

ア 自分の考えなどを話す力について

中学校学習指導要領解説外国語編に示されていることを踏まえ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話す力を、思考過程と英語で話す技能からとらえた。

思考過程では、「自分の考えなどを引き出し広げることができる。広げた考えなどを整理することができる。自分と友達の考えなどを比べながら考えなどを深めることができる。」ととらえた。

英語で話す技能については、「話題にふさわしい情報を付け加えながら自分の考えや理由を伝えることができる。話題にふさわしい質問や応答ができ適切である。つなぎ言葉や相づちをうつ表現などを用いることができる。」ととらえた。

イ 段階的に考えなどを視覚化することについて

研究の方向性で述べたように、3 つの段階において、段階的に自分の考えなどを視覚化する学習活動を取り入れる。視覚化とは、簡単な図を用い

て考えなどを視覚的に描き出すことである。

英語で自分の考えなどを十分に話すことができない生徒に対しては、話題に関する情報や概念の関連性、思考過程を図式化することで、頭の中にある考えなどをまとめ、英語で自分の考えなどを話しやすくできると考える。

そうすることで、自分の考えなどを引き出し、広げ、整理し、深めることができ、自分の考えなどを話す力を伸ばす有効な手立ての一つになりえると考えた。

以上のことから、本研究で目指す生徒の姿を表2のようにとらえた。

表2 目指す生徒の姿

- 自分の考えなどを引き出し、広げ、整理し、深めることができる。
- 適切な語彙や表現を活用しながら、自分の考えなどを正しく伝えることができる。

(2) 主題に迫るために

ア 生徒の実態から

(ア) 事前の実態調査

「私の趣味」という話題で、2分間、3人グループでの自由な会話を実施した。

表3の実態調査の結果から、自分の考えや理由などを伝えることや適切に質問や応答することができていないことが課題となった。また、つなぎ言葉や相づちをうつ表現などを活用しながら、会話を円滑に続けることができていないことも課題となった。

表3 英語で話すことの実態調査

(平成25.9.5実施 大洋中学校第1学年1組26人)

話題 MY hobby (私の趣味)		
分析項目	ある	ない
1 自分の考えや理由などを伝えることができる	10人	16人
2 質問や応答ができ、適切である。	7人	19人
3 つなぎ言葉や相づちをうつ表現などがある。	2人	24人

(イ) 抽出生徒の英文

資料1は、英語で話すことの実態調査を踏まえ、生徒が実際に書いた英文を分析したものである。語数や英文の数に応じて分類した中から、抽出生徒3人を代表的な例として示したものである。

資料1 抽出生徒の回答

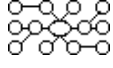

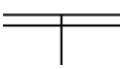
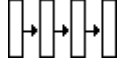
(※英文は生徒が書いたものを記載している。)

抽出生徒	英文	分析
A	Hi, My name is Runa. ① <u>My hobby is music.</u> <u>It's intersetting.</u> <u>My favorite song is Go for it.</u> <u>I have 9 CDs.</u>	① 趣味について、自分の考えと理由があり、情報を付け加えることもできた。 さらに、 <u>自分と友達の考えなどを比べながら、新しい考えや情報などを加えることで、自分の考えなどを深めたい。</u>
B	Hi I'm Yuki. ① <u>My favorite hobby is game.</u> <u>I have ten games.</u> <u>It is fan and difficult.</u>	① 自分の考えと理由を書くことができ、情報も付け加えられている。さらに、 <u>自分の考えなどを広げ、整理することで、伝える内容を豊かにしたい。</u>
C	I'm Runa. ① <u>I like basketball. It is good.</u>	① <u>自分の考えと理由などを引き出し、広げることが十分でない。</u>

イ 自分の考えなどを話す力を伸ばす手立てについて

グラフィック・オーガナイザー（以下、G.O.と表す）を活用して、段階的に考えなどを視覚化する学習活動を表4に示す。

表4 段階的に考えなどを視覚化する学習活動

学習活動	考えなどを視覚化するねらい		手立て(使用するG.O.)	補助的な支援
気づきの段階 広げる	Step 1	・自分の考えと情報をグループ分けしながら、自分の考えなどを引き出し広げることができるようにする。	Brainstorming Web 	学習形態 個人から グループ
	Step 2	・自分の考えや情報を順序立てながら理由と根拠に分類して、自分の考えなどを整理することができるようにする。	Fishbone 	モデル文 辞書の活用
想起の段階 整理する	Step 3	・整理した考えなどについて、ふさわしい語彙や表現を活用しながら英文を書き、話すことができるようにする。	Brainstorming Web Fishbone を再度活用する。	モデル文 学習形態 グループ
	Step 4	・グループ会話の後、自分と友達の考えなどを比べながら、分かったことや知りたいことを書くことができるようにする。	T-Chart 	相互評価 用紙の活用
使用の段階 深める	Step 5	・相手の考えなどを知り、新たな考えや情報を整理し、自分の考えなどを深めることができるようにする。	Chain Diagram 	自己評価 用紙の活用

段階的に考えなどを視覚化する学習活動以外にも、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話す力を伸ばすために、それぞれの段階で、学習形態の工夫、モデル文の提示、評価用紙の活用などの補助的な支援をする。

ウ ルーブリック（評価指標）を用いた評価について

ルーブリックとは、学習目標との関係において求められる達成事項の質的な内容を文章表現したもので、生徒の学習の達成レベルを評価するときに使用される評価指標となる。

グループでの自由な会話では、話される内容に幅があるので、指導と評価の指針としてルーブリックを用いることにする。目指す生徒の姿を踏まえ、指導者側でルーブリックを作成し、話す技能の到達度評価と思考過程の到達度評価をする。

(ア) 話す技能のルーブリック

資料2では、英語で話す技能のルーブリックを示した。適切な語彙や表現を活用しながら、自分の考えなどを正しく伝えることを目標として、横軸には学習の実現状況の度合いを示す各段階のレベルを、縦軸にはそれぞれのレベルにみられる学習の質的な特徴を示した記述語を配した。

(イ) 思考過程のルーブリック

資料3では、段階的に考えなどを視覚化する学習活動における思考過程のルーブリックを示した。自分の考えなどを引き出し、広げ、整理し、深めることを目標として、資料2と同様に横軸には各段階のレベルを、縦軸には学

習の質的な特徴を示した記述語を配した。

資料2 話す技能のルーブリック

Class Number Name						
話題						
	レベル5 (4点)	レベル4 (3点)	レベル3 (2点)	レベル2 (1点)	レベル1 (0点)	スコア
話題にふさわしい情報を付け加えながら、自分の考えなどが伝えられる。	・十分に伝えられる。 自分の考えなどが十分ある。	・概ね伝えられる。 自分の考えなどが概ねある。	・一部伝えられる。 自分の考えなどが少しある。	・ほとんど伝えられない。 自分の考えがない。	・全く伝えられない。 理解が困難。 発話がない。	
話題にふさわしい質問や応答ができ、適切である。	・十分適切である。 質問や応答の仕方を十分に理解している。	・概ね適切である。 質問や応答の仕方を概ね理解している。	・一部適切である。 質問や応答の仕方を少し理解している。	・ほとんど間違っている。 質問や応答の仕方の理解が不十分である。	・全く間違っている。 理解が困難。 発話がない。	
つなぎ言葉や相づちをうつ表現などがある。	・十分ある。 十分会話を続けられる。	・概ねある。 概ね会話を続けられる。	・一部ある。 何とか会話を続けられる。	・ほとんどない。 会話を続けることが困難である。	・全くない。 会話が続きにくい。	
総合スコア						
レベル5(12点)		レベル4(9~11点)		レベル3(6~8点)		
レベル2(3~5点)		レベル1(0~2点)				/12
<i>Teacher's comment</i>						

資料3 思考過程のルーブリック

Class Number Name							
技法	定義	レベルA (4点)	レベルB (3点)	レベルC (2点)	レベルD (1点)	レベルE (0点)	スコア
広げる	考えと情報をグループ分けしながら、自分の考えを広げること。	・十分に広げられた。 考えや情報が十分ある。	・概ね広げられた。 考えや情報が複数ある。	・一部広げられた。 考えや情報が2~3つある。	・ほとんど広げられない。 考えや情報が1つある。	・全く広げられない。 考えや情報がない。	
整理する	考えや情報を順序だてながら自分の考えなどを整理すること。	・十分に整理できた。 理由や根拠が分かりやすい。	・概ね整理できた。 理由や根拠がある。	・一部整理できた。 理由や根拠があいまい。	・整理することが困難。 理由や根拠が足りない。	・全く整理できない。 理由や根拠がない。	
深める	友達と自分の考えなどを比べ、自分の考えを深めること。	・十分深められた。 考えを文章でまとめた。	・概ね深められた。 考えを箇条書きにした。	・一部深められた。 考えが浮かんだ。	・深めることが困難。 考えが少し浮かんだ。	・全く深められない。 考えが浮かばない。	
総合スコア							
レベルA(12点)		レベルB(9~11点)		レベルC(6~8点)			
レベルD(3~5点)		レベルE(0~2点)				/12	
<i>Teacher's comment</i>							

(3) 授業実践（与えられた話題について、2分間グループで自由な会話を行う。）

ア 学習目標

- ・自分の考えなどを引き出し、広げ、整理し、深めることができる。
- ・適切な語彙や表現を活用し、自分の考えなどを正しく伝えることができる。

イ 学習計画（9時間扱い）

次	時	話題	学習活動
1次	第1時	趣味	・事前調査（一斉）
2次	第2時	家族	・G.O.を活用した授業に関するガイダンス（一斉）
	第3時		・自分の考えなどを引き出し、広げ、整理する学習（グループ）
	第4時		・モデル文を使い、文構造を理解する学習（一斉）
	第5時		・辞書の使い方の学習（一斉）
	第6時		・整理した考えなどについての英文を書く学習（グループ）
	第7時		・つなぎ言葉や相づちをうつ表現などの使い方を理解する学習（一斉）
	第8時	友達	・3人で会話をする学習（グループ）
3次	第9時	趣味	・事後調査（一斉）

1st challenge (第2時 - 第7時)

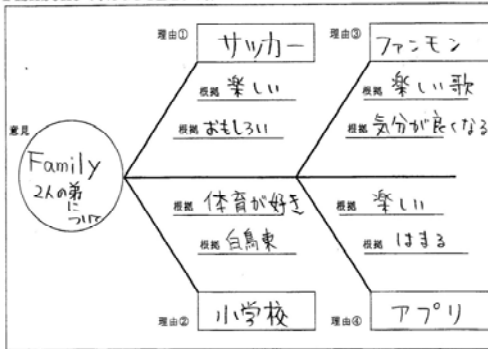
2nd challenge (第7時 - 第8時)

ウ 第7、8時（2nd challenge）を抜粋した学習計画

時	3つの段階的な学習活動	考えなどを視覚化する学習活動の目標（一斉：T、グループ：G、個人：I）	教師の主な働きかけと評価（※）
第7時	広げる Step1	<ul style="list-style-type: none"> ○ G.O.の使い方を確認できる。（T、5分） ○ テーマについて、自分の考えなどを広げることができる。（I、3分）（G、2分） 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に4種類のG.O.を提示することで、段階的な学習活動でのG.O.の活用の仕方を確認できるようにする。 ・考えなどが思い浮かばない生徒や考えなどを引き出し、広げられない生徒には、自由な発想で浮かんだ考えなどをG.O.（Brainstorming Web）にメモするように助言する。 ・学習形態を個人からグループにすることで、さらに考えなどを広げられるようにする。
	整理する Step2（書く）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えなどを、理由と根拠に分け整理することができる。（I、10分） 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えなどを整理して、英文を書きやすくするために、G.O.（Fishbone）を活用し、理由とその根拠に分けることができるようにする。 ・話題に関する語彙リストを提示して、語彙を参考にして英文を書くことができるようにする ・モデル文や辞書を活用することで、自分の考えなどについての英文を書くことできるようにする。
	整理する Step3（話す）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えなどを伝えることができる（I、3分）（G、2分） 	<ul style="list-style-type: none"> ・G.O.（Brainstorming Web）、（Fishbone）を活用して、伝えたい内容を再考できるようにする。 ・語彙リストやモデル文を参考にして、自分の使いたい語彙や表現を適切に活用しながら、英語で話すことができるようにする。

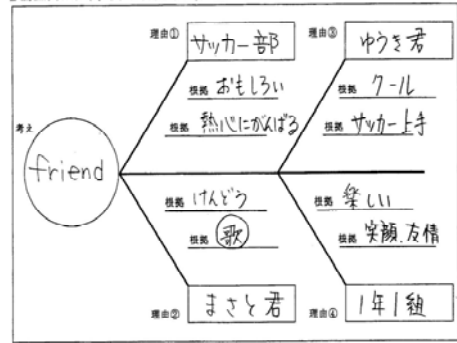
整理する

Fishbone (考えなどを整理する。)



- 2人の弟について4つの項目に分類しながら、自分の考えなどを整理できたことから、自分の考えなどを英文で書きやすくなったことが分かる。

Fishbone (考えなどを整理する。)



- 友達について、自分の考えや情報を順序立てながら、理由と根拠に分類し、自分の考えなどを整理することができた。

I have a two brother.
His favorite sport is soccer.
He's a soccer player.
It is interesting.
He walk to school.
His favorite subject is PE.
It is fun.

- 自分の弟のことについて、自分の使いたい語彙や表現を活用して英文を書くことができた。
- 話題にふさわしい運用度の高い語彙や表現を活用することができていることが生徒の書いた英文から分かる。

(整理した考えなど英文に下す。)

My friend is Masato.
He's a very good kendo player.
His favorit songer is GReen.
My friend is Yūki.
He's a very good soccer player.
He's cool.
He's interesting and fun.
Masato is interesting and fun.

- 自分の考えなどを整理し、2人の友達のことについての英文を書くことができた。
- 形容詞などの語彙を活用することで、語数や英文の数が増え、表現力を高めることができたことが分かる。

深める

自分の考えと友達のを比較しよう。

T-Chart
グループ会話を終えて

分かったこと	さらに知りたいこと
昂也の弟はFUNKY MONKEY BABYSが好き。 真杜には、二人の兄弟がいる。	昂也の弟はFUNMONの誰が好きか？ 真杜の姉と弟は何か好きか？

話題を変えないように、会話を続けるための改善点を確認しよう。
どんな人情報とつけ加えて、聞かれないようにする。

- グループ会話の後、話した内容を振り返り、友達の考えなどを知ることができた。
- 自分と友達の考えなどを比べ、さらに知りたいことなどを書き加えることで、自分の考えなどを深めることができた。

自分の考えと友達のを比較しよう。

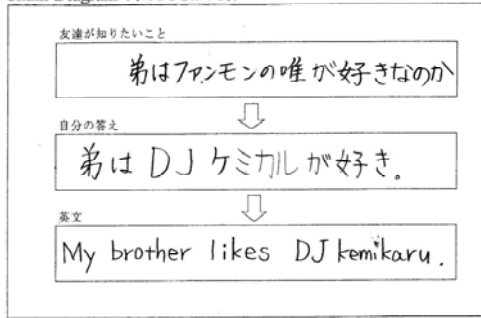
T-Chart
グループ会話を終えて

分かったこと	さらに知りたいこと
真杜君はとても良い剣道選手。 昂也君はとてもやさしくて、 礼儀正しいです。	昂也君の好きな教科。

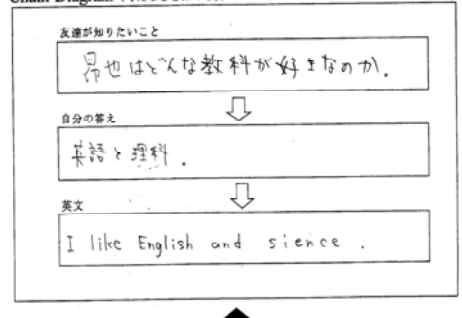
話題を変えないように、会話を続けるための改善点を確認しよう。
どんな話題に新たな情報を付け加えた。

- 友達について分かったことやさらに知りたいことについて書くことができた。
- 生徒の記述から、会話を続けるためには、新たな情報などを付け加えていくことが大切であると考えていることが分かる。

Chain Diagram (考えなどを深める。)



Chain Diagram (考えなどを深める。)



- ・ 友達を知りたいことについて、自分の考えなどを書き加えることができた。
- ・ 自分が使いたい語彙や表現を考え、英文を書くことができた。

- ・ 友達の考えを知り、新たに自分の考えや情報を関連づけ整理したことで、自分の考えなどを深め、英文で書くことができた。

適切な語彙や表現を活用しながら、自分の考えなどを正しく伝えることができたか。

英語で正しく伝えることについて □の中にA, B, Cを書こう。

1 自分の考えなどを伝え、友達に質問できたか。	A
2 友達の質問に回答して、さらに新しい情報を付け加えられたか。	A
3 友達が言ったことを確認したり、分からないことについて尋ねたりできたか。What's ___ in English? You mean... right? など	A
4 つなぎ言葉や相づちをうつ表現などを使うことができたか。Let me see. Well... / I see. Really? Sure など	B

伝える内容を豊かにすることについて □の中にA, B, Cを書こう。

テーマから、自分の考えなどを広げることができたか。(G.O. Brainstorming Web)	B
自分の考えなどを整理することができたか。(G.O. Fishbone)	A
整理した考えなどを英文で書くことができたか。(モデル文、辞書の活用)	A
友達と会話をし、分かったことやさらに知りたいことを書くことができたか。(G.O. T-Chart)	A
自分の考えなどを深めることができたか。(G.O. Chain Diagrams)	A

英語で言いたかったけれど、言えなかった表現を日本語で書こう。

サッカー部

今日の授業の感想を書こう。

もっと自分の考えを広げればもっと良かったと思う。

- ・ 自己評価用紙のチェック項目の回答から伝える内容を豊かにし、自分の考えなどを英語で正しく伝えることができた。これらのことから、自分の考えなどを話す力を伸ばすことができたことが分かる。

適切な語彙や表現を活用しながら、自分の考えなどを正しく伝えることができたか。

英語で正しく伝えることについて □の中にA, B, Cを書こう。

1 自分の考えなどを伝え、友達に質問できたか。	A
2 友達の質問に回答して、さらに新しい情報を付け加えられたか。	A
3 友達が言ったことを確認したり、分からないことについて尋ねたりできたか。What's ___ in English? You mean... right? など	A
4 つなぎ言葉や相づちをうつ表現などを使うことができたか。Let me see. Well... / I see. Really? Sure など	A

伝える内容を豊かにすることについて □の中にA, B, Cを書こう。

テーマから、自分の考えなどを広げることができたか。(G.O. Brainstorming Web)	B
自分の考えなどを整理することができたか。(G.O. Fishbone)	A
整理した考えなどを英文で書くことができたか。(モデル文、辞書の活用)	A
友達と会話をし、分かったことやさらに知りたいことを書くことができたか。(G.O. T-Chart)	A
自分の考えなどを深めることができたか。(G.O. Chain Diagrams)	A

英語で言いたかったけれど、言えなかった表現を日本語で書こう。

あなたの弟、姉はどんな(スポーツ)教材(食べ物)が好きですか。

今日の授業の感想を書こう。

もと場に合わせて自分で自由にいろいろな文章を話せるようになりたいと思った。

- ・ 生徒の記述から、英語で言えなかった内容を確認できたことが分かる。さらに、英語を使って自分の考えなどを話したいという意欲が高まっていることが分かる。

グループワークを用いた評価から

(ア) 話す技能の到達度評価

図1は、3つの項目と総合スコアの平均値を、事前と事後で比較したものである。図1の結果から、3つの項目について、スコアの平均値の上昇が見られた。

これらのことから、適切な語彙や表現を活用しながら、自分の考えなどを正しく伝えることが

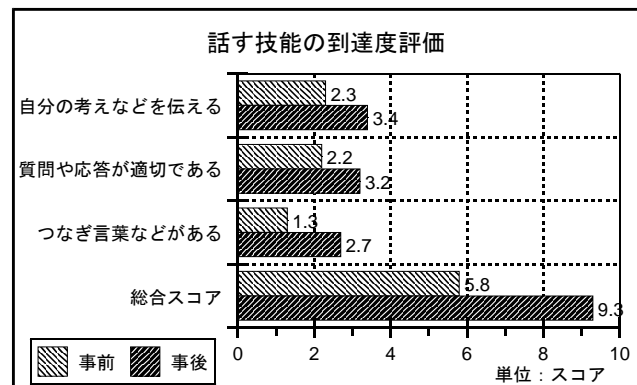


図1 話す技能の到達度評価の比較

できるようになってきていると考察できる。

(イ) 思考過程の到達度評価

図2は、1st challengeと2nd challengeにおいてG.O.を活用した思考過程の到達度を比較したものである。

図2の結果から、自分の考えなどを引き出し、広げ、整理し深めることができたことが分かる。

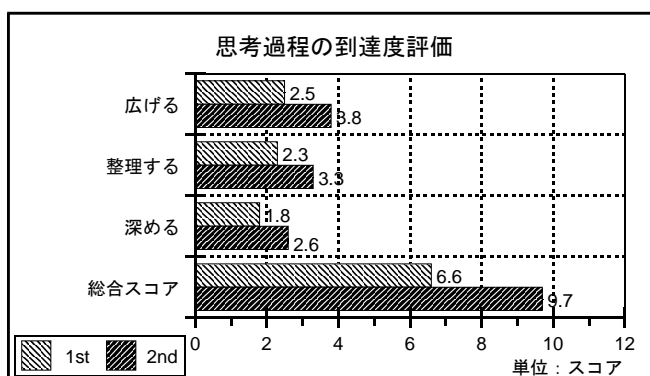


図2 思考過程の到達度評価の比較

これらのことから、自分の考えなどを伝える内容が豊かになり、語彙や表現などを増やすことができたことと考察できる。

ウ 実態調査の事前と事後の比較

(ア) 生徒の実態から

表5の結果から、自分の考えや理由を伝えることができるようになったり、適切に質問や応答ができるようになったりしたことが分かる。また、つなぎ言葉や相づちをうつつ表現などを活用して会話を続けることができるようになったことも分かる。

表5 実態の変容①

(事前：平成25.9.5 事後：平成25.10.8実施 大洋中学校 第1学年1組26人)

事前と事後の話題 My hobby (私の趣味)			
分析項目		ある	ない
1 自分の考えや理由などを伝えることができる。	事前	10人	16人
	事後	24人	2人
2 質問や応答ができ、適切である。	事前	7人	19人
	事後	22人	4人
3 つなぎ言葉、相づちをうつつ表現などがある。	事前	2人	24人
	事後	15人	11人

これらのことから、適切な語彙や表現を活用しながら自分の考えなどを正しく伝えることができるようになり、自分の考えなどを話す力を伸ばすことができたことと考察できる。

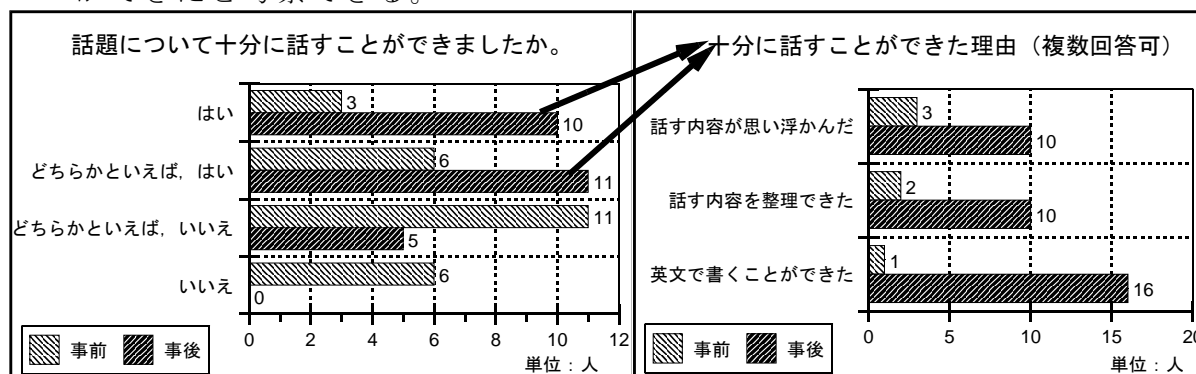


図3 実態の変容② (事前：平成25.9.5 事後：平成25.10.8実施 大洋中学校第1学年1組26人)

図3から、話題について英語で話すことに変容があったことが分かる。考えなどを引き出し、広げ、整理することができるようになった。また、英文で自分の考えなどを書くことができるようになった生徒の数が増えたことが分かる。

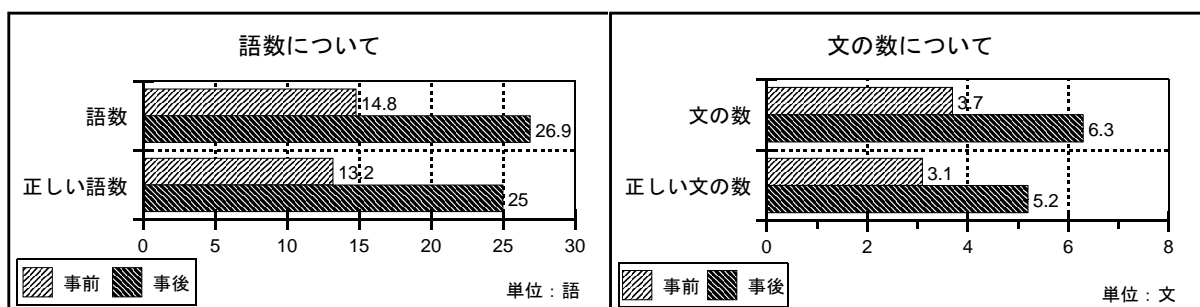


図4 実態の変容③ (事前:平成25.9.5 事後:平成25.10.8実施 大洋中学校第1学年1組26人)

図4からも語数や英文の数が増えたことが分かる。話題について生徒が使いたい語彙を自ら選択して適切に活用することができるようになったことが分かる。これらのことから、語彙力や表現力が高まり、自分の考えなどを話す力を伸ばすことができたと考察できる。

(イ) 抽出生徒の実態から

資料4から、事前と事後の抽出生徒の書いた英文を比較し変容をとらえた。

資料4 抽出生徒の回答

(※英文は生徒が書いたものを記載している。)

抽出生徒	英 文	分 析
A	Hi, My name is Runa. My hobby is listening to music. It's very good. ① <u>I like Nishino Kana and Shimizu Syouta.</u> I like Go for it. It is very good. ② <u>I listen to music after dinner.</u>	事前・さらに、自分の考えなどを深め、伝える内容を豊かにしたい。 ↓ 事後・①、②の英文から、音楽について、自分の考えと情報を整理して、内容的にまとまりの英文を書くことができた。これらのことから、自分の考えなどを深めることができたと考察できる。
B	Hi, I'm Yuki. My hobby is reading comic book. It is very interesting and exciting. ① <u>I have fifty four comic book.</u> ② <u>I want a new HUNTER×HUNTER comic book.</u> My hobby is playing soccer. It is very fan and difficult. ③ <u>I play soccer after school.</u> ④ <u>I have three ball.</u>	事前・さらに、伝える内容を豊にしたい。 ↓ 事後・2つのことについて、自分の考えと理由を述べている。さらに、①、②、③④の英文から、伝える内容が豊になり自分の考えなどを広げ、整理し、深めることができたことが分かる。自分が使いたい語彙や表現を活用し、英文を書くことができた。
C	Hi, I'm Runa. My hobby is basketball. It is fun. ① <u>My hobby is listening to music.</u> ② <u>It is interesting.</u> ③ <u>I listen to music every day.</u>	事前・話題について、自分の考えなどを引き出し、広げることが十分でない。 ↓ 事後・①、②、③の英文から、自分の考えや理由などを引き出し広げることができた。

(ウ) 抽出生徒の感想から

次ページの資料5から、G.O.を活用して、段階的に考えなどを視覚化する学習活動を工夫したことで、自分の考えなどを引き出し、広げ、整理し、深めることができるようになり、自分の考えなどを伝えるため

の語彙力や表現力が高まったことが分かる。

これらのことから、自分の考えなどを話す力を伸ばすことができた
と考察できる。

資料5 抽出生徒の感想

抽出生徒	感 想
生徒A	自分の話したいことをまとめることができ、会話をするとき役に立ちました。 あと書いてから話すと、ただ話したときよりも沈黙が少なくなったと思います。
生徒B	グラフィック・オーガナイザーにまとめたことで、話しやすくなった。単語を調べる機会がふえて、わかる単語もふえたので良かった。
生徒C	グラフィック・オーガナイザーを使ったあとに英文を書いたときは、考えを引き出し広げることができてよかったです。

5 研究のまとめ

初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話す力を伸ばす英語科学習指導を究明するために、グラフィック・オーガナイザーを活用して、段階的に考えなどを視覚化する学習活動を工夫した結果、次のことが明らかになった。

- (1) 気づきの段階で **brainstorming Web** を活用したことは、話題についての考えや情報を関連づけることができ、自分の考えなどを引き出し、広げる手立てとして有効であった。
- (2) 想起の段階で **Brainstorming Web** や **Fishbone** を活用したことは、自分の使いたい語彙や表現を活用しながら英文を書いたり話したりすることができ、自分の考えなどを整理する手立てとして有効であった。
- (3) 使用の段階で **T-Chart** や **Chain Diagram** を活用したことは、自分と相手の考えなどを比べながら会話の内容を振り返り、新たな考えや情報を書き加えることができ、自分の考えなどを深める手立てとして有効であった。

6 今後の課題

- (1) 自分の考えなどを正しく伝えることができるように、話題に変化をもたせ、自分の考えなどを伝え合う言語活動を充実させることである。
- (2) 生徒に運用度の高い語彙や表現などを活用させる場面を意図的に設定し、繰り返し活用させることで、定着ができるようにすることである。

〈主な参考文献〉


文部科学省「中学校学習指導要領解説－外国語編－」

I. S. P. ネーション著「英語教師のためのボキャブラリーラーニング」松柏社
太田 洋・日 藪 滋之著「英語が使える中学生 新しい語彙指導のカタチー学習者コーパスを活用してー」明治図書

補足資料

自分の考えなどを話す力を伸ばすガイドブックを作成し、生徒に配布した。その中から、生徒が活用したものを一部抜粋したものである。

**自分の考えなどを話す力を
伸ばすガイドブック**



大洋中学校英語科（1学年用）

組 番 名前 _____

英語の文構造を覚えよう

3つの文の型を覚えよう

肯定文（自分の考えなどを伝える）

I like English. / It is interesting.

否定文（自分の考えなどを伝える）

I don't like English. / It is not interesting.

疑問文（相手の考えなどを知る）

Do you like English? / Is it interesting?

肯定文で基本的な語順を身に付けよう。

だれが ~する ~に、~を どのように どこ いつ

練習 1

次の日本語を英語の語順に直そう。

tennis I like

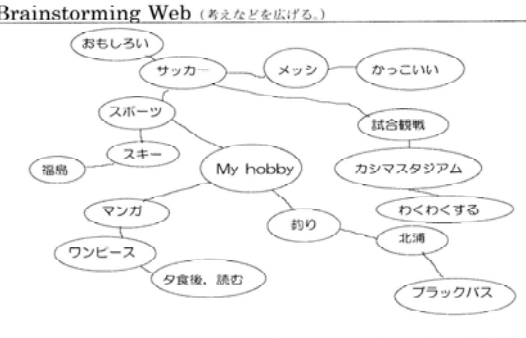
私は/テニスが/好きです。

tennis I very much like

私は/とても/テニスが/好きです。

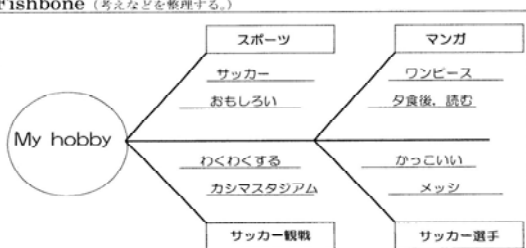
グラフィック・オーガナイザー 〈参考例〉

Brainstorming Web (考えなどを広げる。)



↓

Fishbone (考えなどを整理する。)



整理した自分の考えを英語に直そう 〈モデル文〉

スポーツ サッカー おもしろい	I like sports. My favorite sport is soccer. It is fun.
サッカー観戦 カシマスタジアム わくわくする	I like watching soccer games. I often go to Kashima stadium. Soccer is exciting.
サッカー選手 メッシ カッコいい	I like soccer. My favorite soccer player is Messi. He is very cool.
マンガ ワンピース 夕食後、読む	I like comic books. I love ONE PIECE. I read it after dinner.

語彙リスト

趣味(Hobby)を表す語句

play the piano (ピアノを弾く)
 play computer games (コンピュータゲームをする)
 play soccer (サッカーをする)
 read books (読書をする)
 cook (料理をする)
 watch TV (テレビを見る)
 listen to CDs (CDを聞く)
 sing *karaoke* (カラオケで歌う)
 talk on the phone (電話で話す)
 use the Internet (インターネットをする)
 use LINE (ラインを使う)
 go shopping (買い物に行く)
 go fishing (釣りに行く)
 go to the movies (映画に行く)
 go on a trip (旅行に行く)
 draw picture (絵を描く)
 take photos (写真を撮る)

感情を表す形容詞

nice (すてきな) fun (楽しい)
 interesting (おもしろい) great (すばらしい)
 bad (よくない) boring (つまらない)
 exciting (興奮する) dangerous (危険な)
 wonderful (すばらしい) terrible (ひどい)
 delicious (美味しい)

代名詞(単数)

～は	～の	～を(に)	～のもの
I	my	me	mine
you	your	you	yours
he	his	him	his
she	her	her	hers
it	its	it	—
Taro	Taro's	Taro	Taro's

モデル表現(1年)

話を始める表現

Let's talk about ~.

聞き返す

Pardon? / Say that again.

つなぎ言葉

Let me see. / Well, ...
 Ah, ... / Um, ...
 You know, ...

相づちをうつ

I see. / Sure.
 Really? / Oh, is that right?

繰り返す

I like tennis.  You like tennis.
繰り返すと

分からないとき

What's hon in English?
 I don't understand.

自分が理解していることを伝える

Oh, I see. / I understand.
 I get it.

相手の理解が正しいことを伝える

That's right. / You're right.

驚きや意外性を伝える

Really? / Wow!
 Oh, no. / No kidding.

残念な気持ちを伝える

That's too bad. / Oh, it's very sad.

賛成, 同意を伝える

Oh, yes. / Me too.
 I think so, too. / That's a good idea.

会話をふくらませる

Who? / Where? / When? / Why?

会話を終わらせる

Nice talking with you. / Thank you.